

平成27年7月22日

## 研修報告書

松戸市議会議員

大塚 健児

研修：指定管理者制度における評価

主催：東洋大学客員教授

日時：平成27年7月22日（水） 14時～16時半

場所：アットビジネスセンター東京駅八重洲通り

次第：1. 指定管理者制度における評価

### 【研修報告】

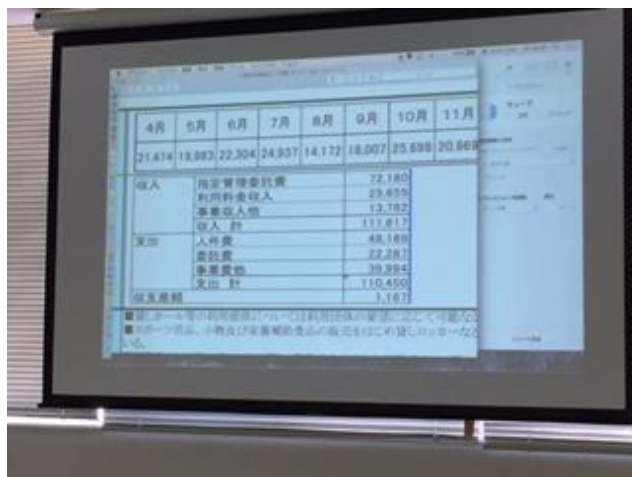
#### ●「役所流」評価のための評価

利用者数と収入で評価する総合体育館

総合体育館であっても実際は、スポーツよりもイベントが多い。

どのように活用したら最終目標なのか？

現場をしらない総務部門が指定管理者を評価しているという問題。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
収入	21,474	18,887	22,304	24,937	14,172	18,007	25,638	20,869
収入						72,180		
収入						29,855		
収入						12,182		
収入						111,817		
支出						48,169		
支出						22,287		
支出						29,894		
支出						110,450		
収支差額						1,167		

※川崎市の体育館の実例

#### ●横浜市の第三者評価制度

指定管理者制度を導入したすべての施設を対象に3つの方式で第三者評価を実施し、評価結果をホームページや施設内等で公表し、指定管理者の業務改善や今後の制度運用に活用する。

約4,250施設中946指定管理者制度を導入済

●民間による第三者評価制度導入の目的

行政と指定管理者の双方から独立した第三者が評価を行い、より客観的にチェック。民間の視点により、公共サービスの向上や業務の改善を進める。

評価機関を複数認定し、効率的に実施をする

評価結果を公表し、自己改善（PDCAサイクルの確立）を促す。

●第三者評価の実施概要

★評価時期

指定管理期間中に1回以上

運営管理2年目もしくは3年目を基本

★評価結果の活用

評価結果を一覧表にして公表

第三者評価制度対象施設内訳	
◎ 評価機関が複数認定する民間評価機関と民間評価機関による評価	
◎ 18年度 第三者評価実施施設	300
◎ 19年度 第三者評価実施施設	37
◎ 20年度 第三者評価実施施設	116
◎ 21年度 第三者評価実施予定施設	127
◎ 21年度以降 第三者評価実施予定施設	20
◎ 専門性が高い市内単独施設への評価委員会(27)による評価	
◎ 600	

●評価委員について

評価に確信がないから、価格ばかりに目が行く。

データをしっかりと役所につくる。

施設利用度を見ればいい。

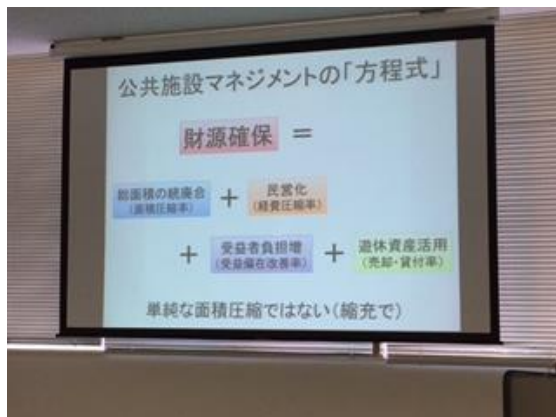
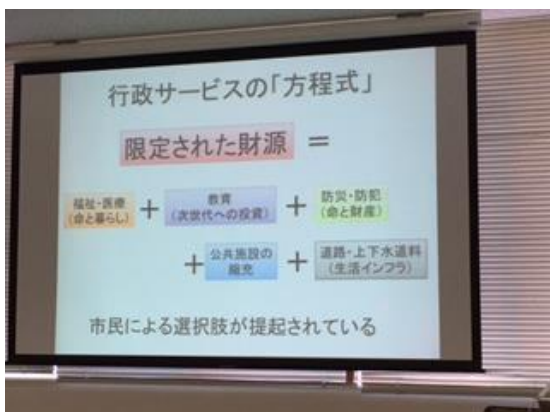
以上を踏まえて、評価委員の研修会を行い、評価実習、試験となる。

横浜市は300人の評価者がいる。

1回の評価で、市が20万円費用として評価者へ支払う。

評価ビジネスにもつながる（リタイア層の年金補てん）

● 今後について



あくまでも公共施設マネジメントに必要なのは、上記2点である。

財源の確保を見ることを決して忘れてはならず、そのうえで指定管理者制度を導入し、評価をしていくこと。

(まとめ)

2日間集中して公共施設マネジメント研修に参加をした。本当によかったと思う。

行政の組織体質から現状の問題点をあぶり出し、今後財源の確保を軸にした、民間の発想を取り入れる指定管理者制度の導入を行うこと。

今振り返ると、なぜこの制度がなかなか普及されていないのか。その研鑽はする必要がある。

いずれにしても早速9月議会で、松戸市の現状と問題点について一般質問をし、市民の皆様にとって、税金の無駄遣いがないよう、最小のコストで最大限の公共福祉を与えられるよう議会活動をしていきます。

以上